

ChatGPT登場以降の生成AI関連の動き

2022年11月	Open AIがChat GPT（GPT-3ベース）を公開。2カ月で1億人の利用者
2023年1月	MicrosoftがOpen AIに今後数年間で数十億ドルの追加出資することを発表
2月	Open AIが、有料サービスChat GPT Plusを開始（月額20ドル） Open AIが「汎用人工知能」について開発・運用方針を発表 漫画×AIで米著作権局が著作権登録の判断。「Zarya of the Dawn」を「全体の著作権は認めるが、個々の画像は著作権で保護できない」
3月	Open AIが、GPT-4を公開、質問の処理能力など機能大幅に向上、「マルチモーダル」対応計画も Microsoftが検索サービスBingにChat GPTを組みこむ（検索サービス用にカスタマイズされたChat GPT） 「AIが自動生成＝著作権なし」米著作権局、AI生成コンテンツの登録ガイドライン公表
4月	イタリア政府がChat GPT使用一時停止要求し、イタリア国内向けサービス停止
4月	岸田首相とサムアルトマンCEOが面会。自民党との会合で「提言」発表
5月	G7でAIに関する議論とりまとめ「広島プロセス」立ち上げ
6月	EU議会、AI法を可決。年内にとりまとめ目指す
8月	Googleが日本でも検索結果とAI生成テキストの同時表示開始
8月	米著作権局が生成AI問題でパブリックコメント募集開始
9月	米アマゾン、生成AIで作った電子書籍に申告義務
10月	シュプリンガーネイチャー、学術書のワークフローに生成AIを採り入れる実験成果を発表
11月	米アマゾン、生成AI技術を使いKDP用のオーディオブック制作効率化ツール導入 イーロン・マスク氏率いる米x AIが11月4日（現地時間）、対話型AI「Grok」を発表 Open AI、Chat GPTをカスタマイズできるGPTsなど発表。カスタムGPTのマーケットプレイス構想も発表（24年1月スタート） 米俳優組合（SAG-AFTRA）が100日以上にわたって続けて来たストライキを中止。生成AI利用などの条件で対立。合意文書には俳優のデータ学習に関する項目も Open AIのアルトマンCEOが理事会の決議で解任（その後復帰）
12月	先進7カ国（G7）、生成AIの国際ルールの中核組みである「広島AIプロセス」に最終合意 Google、「人間の専門家を上回る能力」のマルチモーダル生成AI「Gemini」を発表